

連載 - 第22回 - Recommended by the president

経営者のおすすめをご紹介します

社長のRecommend

Pick Up! 今月はおすすめの一冊をご紹介します

●今月のご紹介者

株式会社 西島製作所 代表取締役CEO 原田 耕太郎 氏



『サイロ・エフェクト 高度専門化社会の罭』

著/ジリアン・テット [訳] 土方 奈美 出版社/文藝春秋



【概要】

1999年のラスベガス。ソニーは絶頂期にあるように見えた。しかし、舞台上でCEOの出井伸之がお披露目した「ウォークマン」の次世代商品は、二つの部門がそれぞれ開発した二つの商品だった。それはソニーの後の凋落を予告するものだった。

世界の金融システムがメルトダウンし、デジタル版ウォークマンの覇権をめぐる戦いでソニーがアップルに完敗し、ニューヨーク市役所が効率的に市民サービスを提供できない背景には、共通の原因がある。それは何か――。

謎かけのようなこの問いに、文化人類学者という特異な経歴を持つ、フィナンシャル・タイムズ紙きってのジャーナリストが挑むのが本書。

Q 1 : この本を手にとられたきっかけについて

良く言えば分業・専門職化が進んだ組織、実態は個人商店化した『タコつぼ』文化を打破する施策を打ち続けていた時に、弊社の現COOであるAlister Flettと話していて、初めて『サイロ (Silo) 』という言葉を知り、この本を手になりました。

Q 2 : この本をおすすめする理由

『効率化を追求しすぎると組織はかえってうまく機能しなくなる』どころか、『重大なリスクや大きなチャンス』を見逃してしまうということを、ソニーとフェイスブックの比較などから分かりやすく紐解いていきます。また、企業だけでなく病院や警察などさまざまな経営の事例に多くのヒントがありました。

Q 3 : どういった方におすすめしたいですか

創造性をUPしたい、守りから攻めの組織を目指すには、と悩んでいる方にさまざまな気づきをもたらしてくれる本です。

そのためには、どうやって組織の柔軟性や社員同士のつながりを維持するか、という仕掛けも大事で

あり、社内のクリエイティビティを刺激し、社員同士の絆を深めるためなら、ローテーションやオフサイトミーティングなど多少の無駄や非効率さは許容しなければなりません。

弊社では、異なる部門の社員が出会い、絆を深められるような場所や制度を設けようとの想いから、本社工場ビルを建て替えるとき、思い切ったデザインにしたのですが、それもこの本が背中を押してくれたお陰です。

みんなで『タコつぼ』文化を一掃して、日本を元気にそして強くしたいですね。

(ご参考) <https://www.torishima.co.jp/saiyo/office-tour/>



会社概要

本社：大阪府高槻市宮田町一丁目1番8号

資本金：15億93百万円

売上高：646億59百万円 (2022年度連結)

従業員数：1,665名 (連結) / 934名 (単体) (2023年3月31日現在)

事業内容：大型・高圧ポンプの製造、販売及びメンテナンスサービスの提供

ホームページ：<https://www.torishima.co.jp/>